

まちの緑

一緒に考えませんか

ひとこと提言 緑あれこれ

葛塚東部緑道



川を埋立てて造った延長約700メートルの木陰の遊歩道。心地よい感触が足に伝わる土の道。博物館や葛塚東小学校の近くで右側は福島潟へ向う道路。

あらたふと 青葉若葉の 日の光 芭蕉
あざやかな木々の緑、さわやかな風、いい季節ですね。
今月のテーマは「まちの緑」です。
人は緑に対して自然の安らぎや潤いを覚えるため、緑の少ない所に生活していると緑を求めて行動すると言われています。これから暑くなると、なおさら葉陰が欲しくなりますね。
あちこち巡って集めた緑に関するアイディアと、まちの緑の一部を写真で紹介いたします。あなたもまちを歩きながら、緑について一度考えてみませんか。



競馬場横の松林
砂丘地の赤松林を保存し環境を保護するため、日本中央競馬会で整備した散歩道。小鳥のさえずりを聞きながら自然の美しさを味わえる。昼間のみ一般に開放。

市民の記念樹でみんなの森を



長谷川敏江さん
東栄町二丁目

たまの休みに家族みんなで、新発田の五十公野公園、聖籠のはまなす公園、新潟の阿賀野川公園へ出掛けています。気持ちがいいですね。
自宅の近くにも公園があるんですが、できれば子供からお年寄りまでゆったりくつろげるような、大きな公園がひとつ欲しいですね。
そこへ、例えば市民から誕生、入学、就職、成人、結婚、退職等の記念に苗木を寄贈していただいたら、将来すばらしい「みんなの森」ができると思います。

しらかば公園 (朝日町)

樹木の緑と大きな池の水がよく調和し、団地の人たちのオアシスになっている。十年程前に民間の宅地開発企業が造成。



○人間が生きるために、なくてはならない酸素をつくり出す。
○汚れた空気をきれいにする浄化作用がある。
○防風、防音、防火、日除け、目隠し等の役目をする。
緑の役割
○人に潤い、安らぎ、親しみ等を与え、景観をよくする。
○コミュニケーションやレクリエーション、休養の場となる。
○他にもいろいろ

珍しい大木等を保存樹に指定



丸山安次さん
下大口、81歳

下大口、正尺の老人クラブ「双葉会」で、三つの公園を月に三回程清掃しています。ゲートボールや桜の花見等に使わせてもらっており、また皆さんのため

に少しでも役立てたらと思いついてね。近くの石動神社にある大槻という大木が、最近弱って花が咲かなくなつたので、根元に盛土をしました。
市内のあちこちに、珍しい古木や大木があると聞きます。こういう風格のある木は、シンボルとして「市の保存樹」に指定し、後世に大事に残してほしいですね。

街路樹のあるみちに愛称名を



亀田清明さん
早通北三、43歳

市内の大きな街路には役所で付けた名称があるんでしょうが、一般にはほとんど知られていないし使われていないんですね。早通の北団地にも銀杏並木の大通りがありますが、新緑、紅葉ときれいなんですが呼び名がないんです。大きな道路に樹を植え、それにちなんだ愛称を付けたらどうでしょう。
他の県では既に実施しており、新潟市でも愛称を公募しました。それから、豊栄は平地ですから放水路や潟の掘削した土砂で人工の山を造り、樹木や芝生を植えて名所にしたらどうかと思います。

平林の杉並木



すがすがしい木漏れ陽の道は、平林の地名にふさわしい杉の並木。水原町へ通ずる県道沿いで右手は昔の阿賀野川跡(古阿賀)。

葛塚の地名発祥地と伝えられる石動様。境内に歴史を見守ってきた槻の大木がある。



石動神社の大槻(葛塚)

須戸の池田ユキさんの庭にある藤の木は、樹齢93年。数本の長い枝が紫の花穂を付け、道行く人の目を楽しませる。

須戸の藤